

Sun コンソール アクセス用コミュニケーション / ターミナル サーバの設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Sunサーバへのコンソールアクセスのセットアップ](#)

[アダプタおよびケーブル](#)

[コミュニケーション サーバの設定](#)

[関連情報](#)

概要

シスコのアクセス サーバは多くの場合、Sun ワークステーションへのコンソール アクセス用コミュニケーション サーバとして設定されます。このような設定では、アクセス サーバをコミュニケーション サーバ、ターミナル サーバまたはコンソール サーバと呼びます。コミュニケーション サーバを Sun デバイスに接続する設定は、コミュニケーション サーバのコンソールをシスコルータにアクセスするためのセットアップに似ています。コミュニケーション サーバの設定の詳細については、『Configuring a Terminal/Comm Server』を参照してください。

警告： 通信サーバをSunワークステーションに接続する前に、[Terminal Server Break Character on Cisco Access Servers](#)の内容を必ず読んで理解してください。このフィールド通知は、コンソール サーバがリロードされた場合に Sun ワークステーションがメンテナンス モードに入るかリブートする可能性があることを警告するものです。先へ進む前に、このフィールド通知の問題に対処して下さい。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の前提条件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このマニュアルの情報は、特定のラボ環境に置かれたデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動していま

す。実稼動中のネットワークで作業をしている場合、実際にコマンドを使用する前に、その潜在的な影響について理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、「[シスコテクニカルティップスの表記法](#)」を参照してください。

Sunサーバへのコンソールアクセスのセットアップ

Sun サーバのコンソール ポートに接続する場合は、次の手順に従います。

- コンソール アクセス用にシリアル インターフェイス (Sun のシリアル A または B) を有効にし正しく設定します。Admintool などのユーティリティを使って、シリアル インターフェイスの状態を確かめます。シリアル [インターフェイス Sun ワークステーションを有効にして](#) 設定する方法の詳細は、『UNIXシステム管理者リソース』を参照してください。
- キーボードを Sun ワークステーションに接続しないでください。Sun マシンは、電源投入時にキーボードを探します。キーボードがプラグ接続されている場合には、サーバはコンソールがキーボードおよびモニタにローカルに接続されているとみなします。サーバはキーボードを検出しなかった場合、コンソールの入力および出力をシリアル ポート A にリダイレクトします。

警告：サーバが起動したら、キーボードのプラグを抜かないでください。これを行うと、コンソールのロックアップが発生します。コンソールがロックアップした場合、サーバがユーザの介入を必要とせず自動ブートし、キーボードが接続されていない状態で再度ブートできることを確認します。自動ブートに関する [情報は](#)、Sun のウェブサイトを参照してください。

- Sun サーバのシリアル ポート スピード、データビット、パリティ、およびストップビットを 9600-8-N-1 (デフォルトの設定) に設定するか、コミュニケーション サーバに設定されている設定に合わせます (異なる場合) 。
- Sun サーバをシスコのコンソール サーバに接続する前に、ダム ターミナルまたは PC を使って Sun サーバのコンソールに接続できることを確認します。コンソール サーバに接続する前に、Sun に関連する問題を切り分けて修正するために、この接続を確認します。コンソール アクセス用のダム ターミナルまたは PC の使用方法については、『[How To: シリアルコンソール](#)のドキュメント』を参照してください。

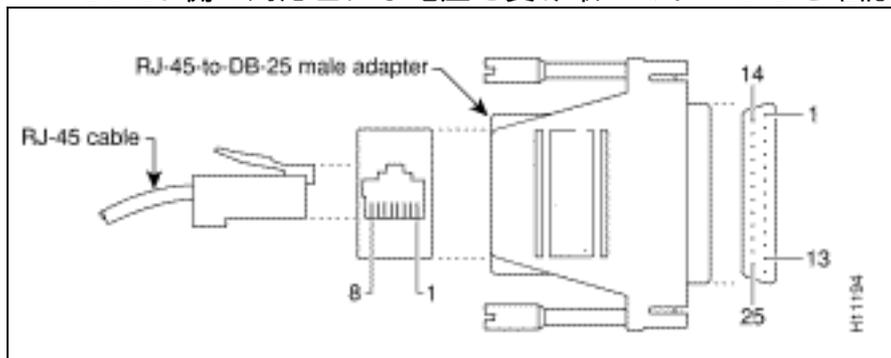
アダプタおよびケーブル

Sun に接続する RJ-45-to-B-25 アダプタを入手または作成します。このアダプタを使用すると、Cisco Access Server を Sun コンソールに接続できます。このアダプタを作成するための RJ-45-to-B-25 オス型アダプタ キットは、ほとんどの電子機器販売店で入手できます。下のピン配置表を使って、アダプタを組み立ててください。

専用 RJ-45-to-DB-25 アダプタは、次のように作成します。

1. アダプタを分解します。
2. ピンを確認し (下の図に示されています)、それを下の表と比較します。
3. RJ-45 側の各ピンから出る線を DB-25 側の対応ピンに接続します (下の表に定義されています)。たとえば、RJ-45 側のピン 1 を DB-25 側のピン 4 に接続します。
4. ブレークアウト ボックスまたはマルチメーターを使って、アダプタが正しく配線されている

ることを確認します。マルチメーターを使う場合には、RJ-45 側の各ピンに電圧を加え、DB-25 側の対応ピンが電圧を受け取っていることを確認します。



Sun のシリアルポート用の RJ-45-to-DB-25 アダプタ			
信号	RJ-45 側のピン	DB-25 側のピン	信号
CTS	1	4	RTS
DSR	0	20	DTR
RxD	3	0	TxD
GND	4	7	GND
GND	5		
TxD	6	3	RxD
DTR	7	6	DSR
RTS	8	5	CTS

(コミュニケーション サーバから) CAB-OCTAL-ASYNC ケーブルの届く範囲まで延長するには、ストレートケーブルを使用します。[CAB-OCTAL-ASYNC ケーブルの届く範囲まで延長する必要がない場合には、上の指示に従って RJ-45 プラグを RJ-45-to-DB-25 アダプタに接続します。](#)

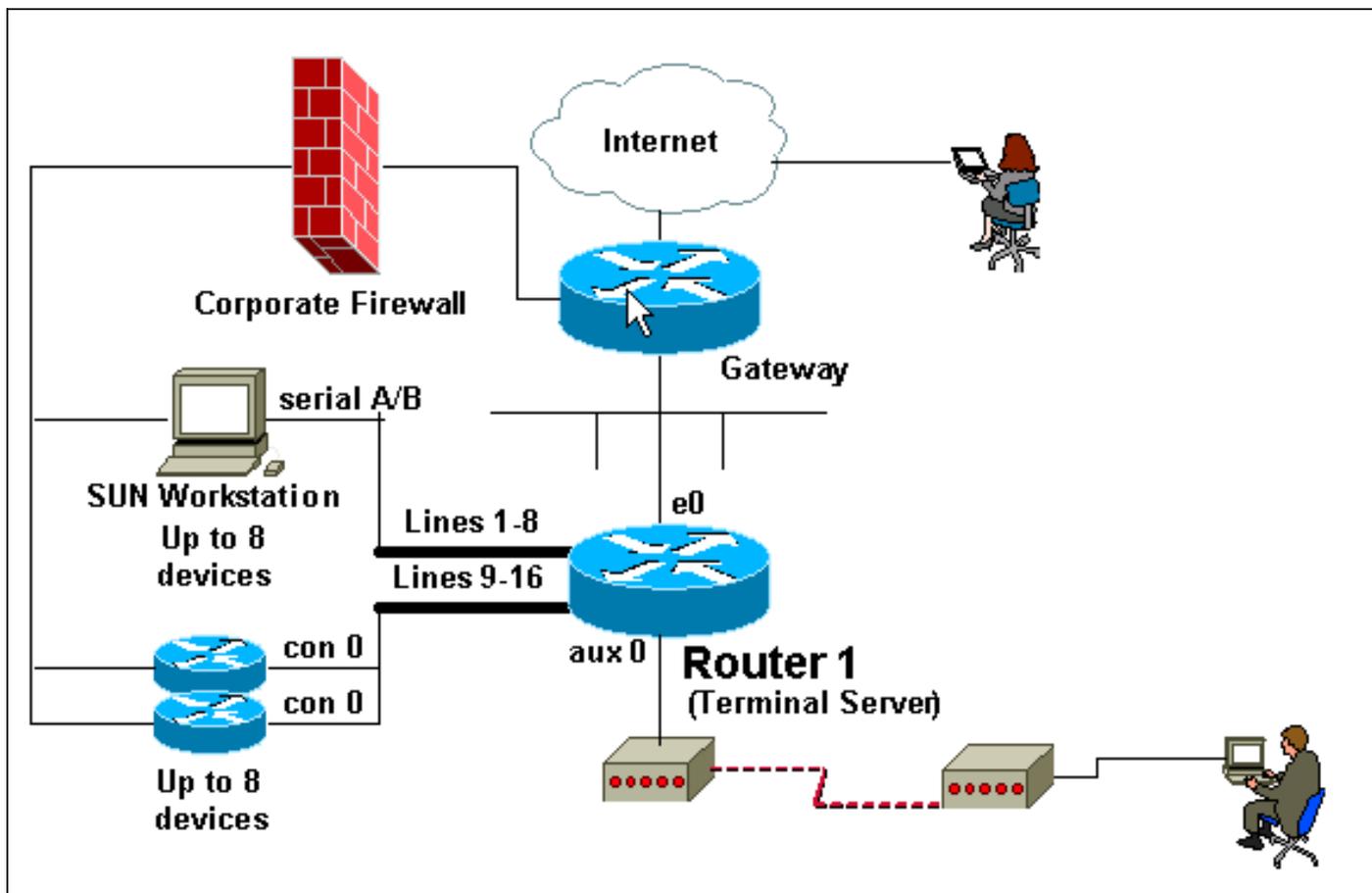
注：上記のピンアウト表は、DB-25シリアルポートを備えたほとんどのSunサーバに適しています。Sunサーバのシリアルポートの種類を確認するには、「[Sunシリアルポートとケーブルのピン配置](#)」を参照してください。サーバのシリアルポートピン割り当てが上の表のピン割り当てと一致しない場合には、Sun から予想される信号を CAB-OCTAL-ASYNC ケーブルから提供される該当信号に一致させてアダプタを作ります。

シスコの RJ-45-to-DB-25 コネクタを使った Sun サーバに接続する代替方式 (実験シナリオに基づく) を、次の表に示します。ただし、上で説明した手順を使用して変動を除去します。

コミュニケーションサーバからのケーブル	ケーブルの延長	RJ-45-to-DB-25 コネクタ
CAB-OCTAL-ASYNC (ロールオーバー組み込み DTE)	ロールオーバー付き A 1 RJ-45 サテン ケーブル (CAB-500RJ) が必要です。追加のケーブル延長 (必要な場合) は、ストレートでなければなりません。	CAB-5MODCM (MODEM と記されたアダプタ)。このコネクタは以前に改造されたものではありません。

上の組み合わせは、2つのDTE間のマルチモデム接続に相当します。上の組み合わせを試して接続を確立できなかった場合には、コネクタのピン割り当てを確認するか、上に説明したRJ-45-to-B-25アダプタを作成します。

コミュニケーションサーバの設定



次のCisco Comm Server設定の抜粋は、Sunのコンソールポートに接続する非同期回線の設定を示しています。「ターミナル/コミュニケーションサーバの設定」の指示に従って、コミュニケーションサーバを設定する必要があります。

ルータ 1

```
(...)  
line 1 16  
!--- Configure the lines that are used for sun console  
connectivity. session-timeout 20 !--- Session times out  
after 20 minutes of inactivity. no exec !--- Unwanted  
signals from the attached device do not launch an EXEC  
session. !--- Prevents the line from being unavailable  
due to a rogue EXEC process. exec-timeout 0 0 !---  
Disables exec timeout. transport input all !--- Allows  
all protocols to use the line. (...)
```

注：この設定が機能しない場合は、コンフィギュレーションモードでflowcontrol hardware inコマンドを使用して再接続します。問題が解決しない場合には、『[Sun コンソール アクセス用のコミュニケーション/アクセスサーバの設定](#)』を参照して、Sunがダムターミナルからのコンソール接続を受け付けるかどうかを確認します。

下の出力は、コミュニケーションサーバ (maui-oob-01) から Sun Sparc Ultra 5 サーバ

(supersweet) への接続を示したものです。最初の認証は、発信接続時にコミュニケーションサーバによって行われます。2番目の認証は、Sunによって行われます。

(...)

```
maui-oob-01#telnet 172.22.163.26 2015
```

```
Trying 172.22.163.26, 2015 ... Open
```

```
User Access Verification
```

```
Username:
```

```
Password:
```

```
supersweet console login: root
```

```
Password:
```

```
Last login: Tue Feb 13 08:01:26 on console
```

```
Feb 13 17:34:54 supersweet login: ROOT LOGIN /dev/console
```

```
Sun Microsystems Inc. SunOS 5.6 Jumpstart 1.024 August 1997
```

```
supersweet:/ ->
```

(...)

[関連情報](#)

- [コンソール アクセス用のターミナル/コミュニケーションサーバの設定](#)
- [Cisco アクセスサーバにおけるターミナルサーバのブレイク文字](#)
- [How To : シリアル コンソール](#)
- [Sun Serial Port and Cable Pinouts](#)
- [Unix System Administrator Resources](#)
- [Greater Scroll of Console Knowledge](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)